

「健康ビッグデータ構築事業」参加者の方へ

産業医科大学では、以下の研究を実施しております。

この研究は、レセプト・特定健診データなどの医療健康データに、健診データ・労務情報・プレゼンティーズム情報などの企業データを連結した新たなデータベースを構築し、企業や健康保険組合が健康施策を立案するために必要な分析を行う研究です。

このような研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（西暦 2014 年 12 月 22 日制定 西暦 2017 年 2 月 28 日一部改正）」により、対象となる患者さんのお一人お一人から直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開するとともに、参加拒否の機会を保障することとされています。この研究に関するお問い合わせ、またご自身の診療情報が利用されることを了解されない場合は、以下の問い合わせ先にご連絡ください。利用の拒否を申し出られても何ら不利益を被ることはありません。但し、産業医科大学は既に匿名化した後のデータを受領しております。そのため、利用拒否の申し出があった際には、ご所属の企業および健康保険組合と相談の上対処させていただきます。利用拒否希望者のデータが既に匿名化されている場合個人を特定することができないため、データからの削除ができない場合がございますのでご了承ください。

1. 研究課題名 労働機能障害とその後の受診行動に関する後ろ向きコホート調査
2. 研究期間 2021 年 7 月 ～ 2023 年 3 月
3. 研究機関 産業医科大学 産業保健データサイエンスセンター・産業保健経営学
4. 実施責任者 産業保健経営学 准教授 永田 智久

5. 研究の目的と意義

近年、労働機能障害について注目が集まっております。健康問題による労働機能障害の程度を測定するための調査票 Work Functioning Impairment Scale(以下 WFun とする)が開発されています。これまでの研究によると、WFun が高いと長期病欠のリスクが高く、短期病欠の発生リスクも高いことがわかっています。労働機能障害を評価することは、将来の労働者の病欠のリスクを予測するのに有用であると考えられます。

本研究では、労働機能障害とその後の受診行動との関連についての検証を目的としています。早期に労働機能障害をスクリーニングすることで、適切な受診行動への介入が可能になると考えます。

6. 研究の方法

産業保健データサイエンスセンターに蓄積されたデータを用いて分析を行います。労働機能障害を測定する調査票 WFun を実施し、回答を得て、調査票回答日以後 6 ヶ月間の毎月の診療報酬明細書を用いて、その後の医療機関への受診行動を把握します。

7. 個人情報の取り扱い

本研究では研究者が個人情報を取得することはありません。

8. 問い合わせ先

産業医科大学 産業生態科学研究所 産業保健経営学研究室 准教授 永田 智久
(093-603-1611 内線 4921)

9. その他

本研究に参加することによる直接的な利益および経済的負担はありません。